

1 ◆Track5

2  
3 んっ…はぁ…んうう…♡

4  
5 んっ…あっ…、よ、ようこそ、いらっしやいました…。

6 んっ…、今夜も、ありがとうございます…。

7 んっ…ふう…、あ、はい…、ちよっと、発情が強くなっているようで…、今  
8 日は教会のお仕事も、お休みさせていただきました…。

9  
10 いえ…、あなた様のせいではありません…。日によって体調は違うと思います  
11 し、昨日初めてあなた様の精液を飲んだので、身体がちよっとびっくりしている  
12 だけかもしれません…。

13  
14 んっ…はぁ…、きつと、もっと精液を飲んで、身体が慣れていけば、いい薬にな  
15 ると思うんです…。

16 はぁ…んっ…、そういうわけですので、今夜もあなた様の精液、いただきたいで  
17 す…。

18 身体が慣れるまで、昨日よりもっといっぱい…、いいですよね…？

19  
20 んっ…はぁ…♡

21  
22  
23 んちゅっ…れろれろ…れろ…ちゅう…ちゅうう…、お願いします…、んちゅう…  
24 れろれろれろ…れろ…ちゅっ…、あなた様の精液たくさん…、メス猫シスターの  
25 お口に、お恵みください…♡

26 んっ…れろれろれろ…れろ…んちゅっ…ちゅっ…んれえろれろれろ…れろれろれ  
27 ろ…れろれろお…♡

28  
29 んっ…ふう…、おちんちん、大きくなってきました…♡  
30 私に精液、お恵みいただく気持ちに、なっていただけたんですね…。  
31 それでは遠慮なく…いっぱいいただいちゃいますね…♡  
32 スポンとおパンツ、失礼します…。  
33

34 んっ…はあ…、今日ずっと思い続けていた、あなた様のおちんぼ…、ぴんと立つ  
35 て、私のお顔に先っぱ向けて…、んっ…はあ…、私を誘うような匂い…、たまた  
36 らないですう…♡

37  
38 んっ…くっ…ふう…♡

39  
40 すみません、こんなの目の前に突き付けられたら私、もう我慢できません…。

41 はあ…はあ…、口からよだれ垂れちゃうの、止まらない…。

42 あなた様のおちんぼ、しゃぶり尽くしてしまいたいです…♡

43 んっ…はあ…、私のお口でいっぱい、気持ち良くなってくださいね…♡

44  
45  
46 んっ、ちゅっ…ちゅっ…ちゅう…、先っぱから、味わっちゃいますう…♡

47 んっ…はあ…、んれえろれろ…れろれろ…れろ…、んっ…ちゅっ…ちゅう…、れ

48 ろれろ…んれえ…れるれろれろ…、んれえるれろお…♡

49 んうう…、よだれたつぶり出ちゃいます…。おちんちんの先っぱ、マーキングし  
50 ちゃってるみたいですわね、ごめんなさい…。

51  
52 んっ…ちゅっ…ちゅう…、んっ…んれえろれろれろ…れろれろれろ…、んちゅ  
53 う…、んれえろれろれろ…れえるれろれろ…れろれろれろ…んっ…ちゅっ、ちゅ  
54 う…♡

55  
56 はあ…、おちんちん、ぬるぬるにしちゃいました…。

57 先っぱ…、私のよだれでぬるぬるてかって、とってもいやらしいおちんちん様で  
58 すう…♡

59  
60 んうう…、先っぱばかり舐めていても、もどかしいですよ…。昨日みたい  
61 に、おちんちんいっぱい、頬張っちゃいますね…。

62 シスターのお口…、んっ…、お口まんこ…、あなた様だけが使える、シスターお  
63 口おまんこ…、たっぷり味わってください…♡

64 それでは、失礼します…。

65

66

67 んっ…ちゅっ…はぁ…むう…、んっ…んうう…、お口いっぱい…、おちんぽ広  
68 ってますよう…、んっ…、じゅるっ…、じゅるっ、じゅるる…、じゅぼっ、じ  
69 ゆぼっ、じゅぼっ、じゅぼぼっ…♡

70  
71 んっ…ふう…、じゅるっ、じゅるっ、じゅるるっ、じゅるう…、はぁ…、ぢゅ  
72 ぼっ、ぢゅぼっ、ぢゅるるっ、ぢゅるるるう…、んじゅるっ、じゅるっ、んじゅ  
73 う…、じゅるっ、じゅるっ、じゅるるっ…♡

74  
75 んむう…、美味しいですう…。あなた様の雄の匂い…、鼻の奥まで突き抜けてき  
76 て、たまらない…♡

77 早く精液お口に欲しくて…、夢中でしゃぶっちゃいますう…♡

78  
79 んふう…、んじゅっ、じゅっ、じゅるっ、じゅるっ、じゅるるう…、んむっ…、  
80 じゅるっ、じゅるっ、じゅっ、じゅっ、じゅるる、じゅるじゅる…、じゅるるう  
81 …♡

82  
83 んうう…、どんどん大きくなってますよう…♡

84 じゅるっ、じゅるっ、じゅるるっ、じゅるっ、じゅるっ、じゅぞぞぞお…♡

85 んむう…、おちんちん震えてきて…、んっ…、限界、近いんですね。

86 いっぱいください…、精液、お恵みくださあい…♡

87  
88 んじゅっ、じゅっ、じゅっ、じゅるっ、じゅるるっ、じゅるっ、じゅるっ、じゅ  
89 るるう…、じゅぞっ…じゅぞぞぞ…、じゅぼっ、じゅぼう、じゅぼぼっ…じゅ  
90 るるっ、じゅるるるっ、じゅるっ、じゅるっ、じゅるるるっ、じゅるるう、んじ  
91 ゆるるるう…♡

92  
93 んむっ！ んっ…むうう…！

94 んっ、来たぁ…♡

95 んっ…ぐむっ…んっ…むう…、んっ…ぐう…んっ…んうう…んっ…んむう…♡

96  
97  
98 んっ…はぁ…、全部、お口おまんこで、受け止めましたぁ…♡

99 とつてもたくましいお射精、素敵ですう…♡

100 はぁ…、見てください、あなた様の出した精液、こんなにいっぱい…。口から溢  
101 れ出ちゃいそう…♡

102 んっ…ふああ…、全部一滴残さず、飲み込んだじゃいますね…♡

103  
104 んっ…んぐっ…「くっ…」くっ…んぐっ…「くっ…」んっ…ふう…♡

105  
106 んっ…ああ…♡

107 あなた様のどろっと濃いのが、全部飲みました…♡

108 とっても美味しい…、最上のご褒美ジュースです…♡

109 はあ…、んっ…ふう…、これ…、もっと飲みたくなっちゃいました…。

110 もう一回、濃いのが飲みたい…、あなた様の白いの、もっと…♡

111

112

113 んっ…はあ…、もう一度、出してもらってもいいですか…？

114 私、いっぱい頑張りますから…、おちんぼ様にいっぱい、ご奉仕しますから…、  
115 お願いします…♡

116

117 あっ…、ふふっ…、おちんちんぴくって…、ご許可いただいちゃいました…、あ  
118 りがとっ「ぎ」います…♡

119

120 んっ…、すうう…、ふう…、精液の匂い…、まだおちんちんに残ってますね…♡  
121 先ほどのお射精の分は、全部飲み干したと思いましたが…、んっ…ふう…、これ  
122 はお掃除も兼ねて…、しっかり吸い上げないといけませんね…♡

123

124 んっ…、じっとしていてくださいね…、お口の内側で、おちんちんに頬ずりする  
125 みたいに…、ぴったり密着バキュームで、あなた様の全部、いただいちゃいます  
126 う…♡

127

128 んっ…はむう…んっ…んぶっ…、んじゅっ、じゅっ、じゅるるっ、じゅるっ、じ  
129 ゅるっ、じゅぶぶっ、じゅぶっ、じゅぶっ、じゅううう…♡

130

131 んっ…ふう…、じゅぼぼっ、じゅぼっ、じゅぶっ、じゅぶっ、じゅるるう…、ん  
132 じゅっ、じゅっ、じゅるっ、じゅるるっ、じゅるじゅる…じゅう…、じゅるっ、  
133 じゅるっ、じゅぶっ、じゅっ、じゅうううっ、じゅるるるう…♡

134

135 んっ…むう…、またおちんちん、震えてきましたね…、んじゅっ…じゅっ…じゅ  
136 っ…じゅるう…、んふう…、私のフェラチオ、上手になってきましたか…？

137 んぽっ…んぶっ…んじゅっ…、じゅるるっ…じゅるう…♡  
138 あなた様の精液をいっぱいいただける、立派な専用お口おまんこになるまで…、  
139 んじゅっ、じゅるっ、じゅるう…、たくさんおちんちん、しゃぶらせてください  
140 ね…♡

141  
142 んじゅっ、じゅるじゅるっ、じゅるっ、じゅっ、じゅっ、じゅるう…、んむっ  
143 …、んじゅっ、じゅっ、じゅるるっ、じゅるっ、んじゅるるるっ、じゅるっ、じ  
144 ゆるっ、じゅるるるう…♡

145  
146 んっ…、また先っぽぬるぬる…、いっぱいになってきましたあ…♡  
147 んぶっ、んじゅっ、じゅるっ、じゅるう…、精液たくさん作る準備…、してくれ  
148 てるんですね…♡

149  
150 んじゅっ、じゅるっ、じゅるっ、じゅるるっ…、たまたまのところ、優しく触れ  
151 ながら…、んじゅっ、じゅるっ、じゅるっ、じゅるるっ、じゅるるっ、じゅるるう  
152 …♡

153 んむっ…、たま揉み同時フェラチオ…、気持ちいいですか…。んじゅるっ、じゅ  
154 るっ、じゅるるっ、じゅるじゅるう…、精液いっぱいお作りください、たまたま  
155 様…、精液いっぱいお恵みください、おちんちん様あ…♡

156  
157 んじゅっ、じゅるっ、じゅるっ、じゅぼぼっ、じゅぼっ、じゅぼっ、じゅるる  
158 う…、んじゅっ、じゅっ、じゅっ、じゅるるっ、じゅるじゅるっ、んじゅるるう  
159 …♡

160 んうっ…、じゅぞっ、じゅぞっ、じゅるるるっ、じゅるうっ、じゅぼっ、じゅぼ  
161 っ、じゅぼぼっ、じゅぼぼぼっ、じゅるる、じゅるるる、じゅるっ、じゅるるる  
162 っ、じゅぞっ、じゅぞぞっ、じゅぶっ、じゅぶっ、じゅぶぶっ、じゅぶぶぶっ、  
163 じゅっ、じゅる…、ずぞぞぞおおお…♡

164 んむうっ…  
165  
166 ん、ぶう…、またきたあ…♡  
167 んむっ…んっ…ぐう…んっ…んっ…んうっ…んっ…ぐっ…♡

168  
169 んっ…はあ…、二回目なのに、いっぱい出ましたねえ…♡  
170 喉奥まで流し込まれるようなお射精、すごいですう…♡  
171

172  
173 んっ…はぁ…♡

174  
175 口の中に、またいっぱい、お恵みいただきました…♡

176 大切な精液、味わいながら…、お飲みさせていただきますね…♡

177  
178 んっ…ぐっ…、んぐっ…、ぐくっ…ぐくっ…♡

179  
180 んっ…はぁ…♡

181 美味しくて、幸せですう…♡

182 あなた様の熱いの、お腹で感じて…、頭、ふわふわしちゃってます…♡

183  
184 そういえば…、今日は寮長様がいらっしやらない日なんです…。

185 見回りありませんので、もっとあなた様といらればと…。

186 あなた様の温もりを感じながら、夜を過ごしたい、です…♡

187 よろしければ、泊まっていては、いただけないでしょうか…？

188  
189  
190 ありがとうございます、とても、嬉しいです…♡

191 んっ…ふう…、今夜はずっと…、どうぞよろしく願います、あなた様…♡

192